

アスベスト・土壌・PCBの調査は解体前に！

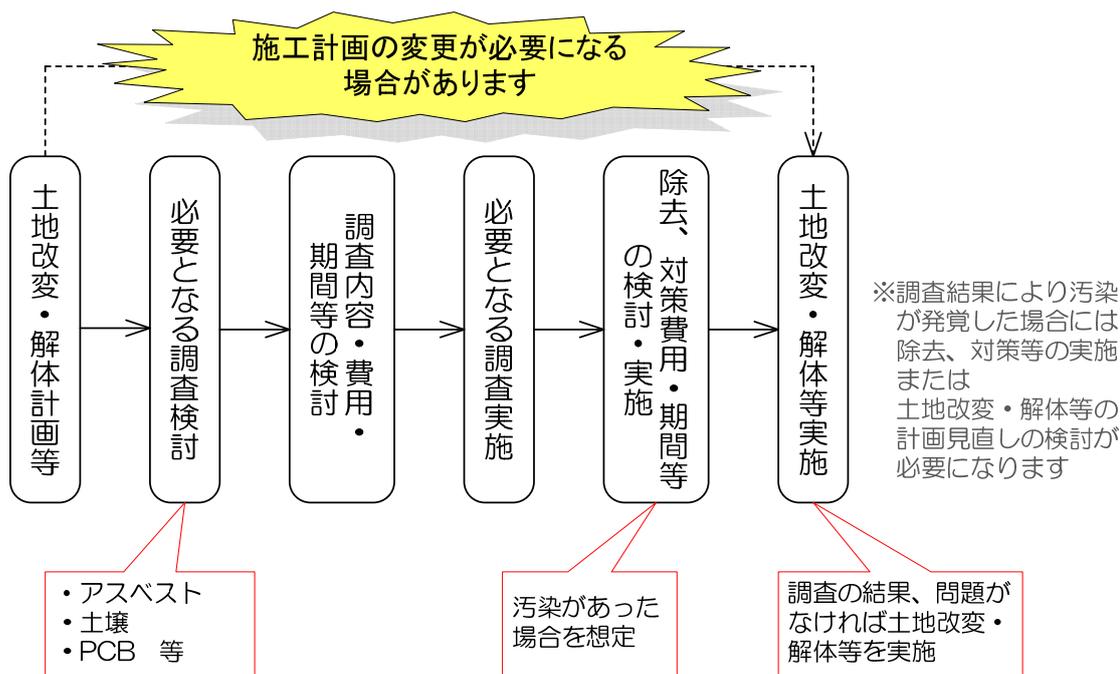
近年、解体計画時や解体工事中にアスベストによる問題が顕在化したり、土地形質変更時に土壌汚染調査の必要性が生じるなど、施工計画の変更を求められる事例や思わぬ予算の計上を求められる事例が増えています。

例 1) 解体工事中に想定していなかったアスベストが発覚→解体工事ストップ
→膨大な除去費用に加え大幅な工期延長

例 2) 解体工事中に行政から土壌調査の指導→解体工事ストップ→土壌調査実施
→土壌汚染の発覚により想定外の対策費用に加え大幅な工期延長・計画変更

上記のようなリスクの回避や、解体工事、土地の形質変更やその後の開発等の事業を円滑に進めるためにも、必要な調査について事前にご検討してみるてはいかがでしょうか？

○ 業務フローの検討例



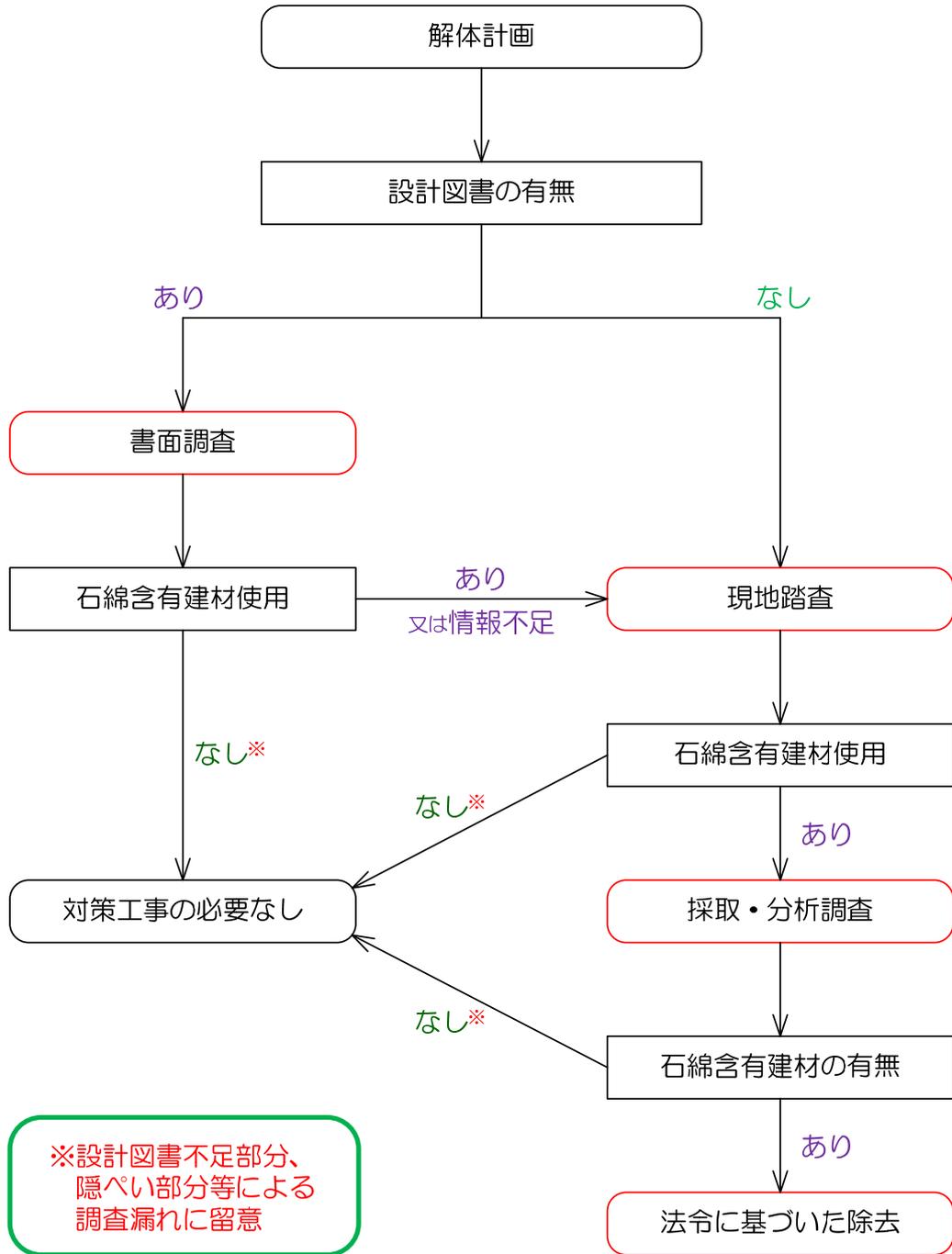
当社では、『建築物石綿含有建材調査者』や『土壌汚染調査技術管理者』などの有資格者が在籍し、調査についてのご提案や結果に対する評価まで高品質のサービスをご提供しております。

詳しくは、以下の担当者まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

- アスベスト : 研究開発部 守屋 (内線 3 7 8)・鈴木(敏) (内線 4 0 1)
- 土壌 : 研究開発部 明石 (内線 2 6 7)・坂田 (内線 2 7 3)
- PCB : 研究開発部 佐藤(旭) (内線 4 2 8)・相沢 (内線 4 4 0)



業務フローの検討例（アスベスト調査編）



業務フローの検討例（土壌調査編）

